

編集後記

この度、『浄土真宗総合研究』第一三号を発刊いたします。

今号はテーマを「み教えから実践へ」と設定し研究を進めました。改めて、現代の日本社会を俯瞰すると、環境問題や頻繁に起こる災害、高齢化に伴う孤独死や認知症などの問題、少子化による人口減少など、さまざまなかつ大きな課題があり、それらは時に連動して複雑な現象を生み出していることがわかります。仏教や寺院、僧侶に求める期待や要望も、こうした動きに連動し、変容し続けています。

このような社会の複雑な課題に直面するなかで、特に教団内では仏教者、念仏者の立ち位置が問題視されます。「その課題に取り組む上での教えの根拠は何なのか」「なぜ、私たち念仏者がこの課題に取り組まなければならないのか」。これらの問いに、我々仏教者、念仏者はさまざまな議論を積み重ねてきました。当研究所でも、こうした現代の諸課題に何が言えるのか、何ができるのかを試行錯誤しつつ、歩みを進めてまいりました。

そこで、今号では、当研究所の研究職員がこれまで関

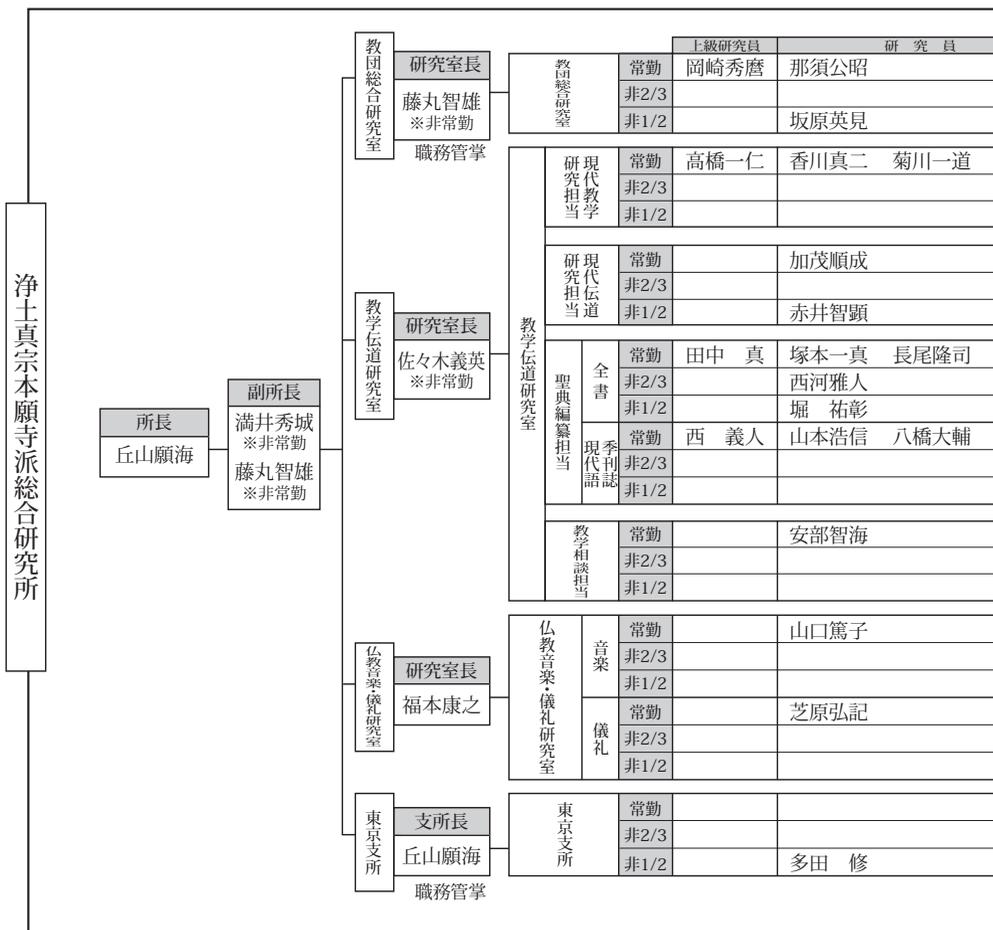
わってきた現代の諸課題にふれるなかで、仏教者、念仏者としてのあり方を問うことを念頭に執筆を行いました。真宗の教義からみえる社会との対応、戦後におこった「信仰と実践」の議論、現代の有識者による仏教と社会実践に関する言説の分析、超高齢社会における僧侶の役割、の四本を収録しております。多方面からさらなる議論が必要ではありますが、これからの研究のきっかけとなる内容となったのではないかと考えます。

今号の成果が、読者の皆様、そして宗門にとつて有益なものとなることを、編集者一同、強く願っております。

浄土真宗本願寺派総合研究所は、現在「教団総合研究室」「教学伝道研究室」「仏教音楽・儀礼研究室」と「東京支所」の三室一支所の体制で、それぞれの専門性を生かした研究・調査・編纂の事業を継続しています。「自他共に心豊かな社会の実現」（宗制）のために、今後、その成果を『浄土真宗総合研究』や、さまざまな研修会・刊行物を通して公開して参ります。

（『浄土真宗総合研究』刊行委員会）

2018（平成 30）年度浄土真宗本願寺派総合研究所



浄土真宗本願寺派総合研究所 所掌事項一覧

教団総合研究室	1 宗門運営の総合的研究及び現況調査に関すること	
	2 他の宗教団体の研究及び分析に関すること	
	3 宗門教学会議の運営に関すること	
	4 六条円卓会議の運営に関すること	
	5 前各号のほか、必要なこと	
教 学 伝 道 研 究 室	現代教学研究担当	1 現代における教学の総合的研究及び調査に関すること
		2 現代的諸課題の調査研究に関すること
		3 総局が指示した教学諸問題の解明に関すること
		4 他の宗教団体との協力に関すること
	現代伝道研究担当	1 布教伝道の推進についての実践的研究に関すること
		2 宗門内の伝道資料の収集、調査、分析及び開発に関すること
		3 メディアを用いた伝道方法の研究に関すること
		4 過疎地域及び都市部における伝道並びに国際伝道の研究に関すること
	聖典編纂担当	1 浄土真宗聖典等の編纂及び刊行に関すること
		2 聖典編纂資料の収集、調査及び分析に関すること
	教学相談担当	1 「いのちと念仏」相談センターの運営に関すること
		2 前各号のほか、必要なこと
仏教音楽・儀礼研究室	1 勤式儀礼及び仏教音楽の研究及び普及に関すること	
	2 声明及び仏教音楽の創作及び演奏に関すること	
	3 前2号のほか、必要なこと	
東 京 支 所	1 首都圏における教学伝道の振興に関すること	
	2 首都圏における思潮や情勢その他諸問題の調査、分析に関すること	
	3 首都圏における宗教事情及び他の宗教団体の研究に関すること	
	4 首都圏における教学伝道上の諸課題その他諸問題の研究及び対応に関すること	
	5 首都圏におけるメディアを用いた伝道の研究に関すること	
	6 前各号のほか、必要な調査研究業務に関すること	

執筆者一覧

- 満井秀城 (みつい しゅうじょう)
浄土真宗本願寺派総合研究所 副所長
- 岡崎秀磨 (おかざき ひでまる)
浄土真宗本願寺派総合研究所 上級研究員
- 内手弘太 (うちで こうた)
浄土真宗本願寺派総合研究所 研究助手
- 高橋一仁 (たかはし かずひと)
浄土真宗本願寺派総合研究所 上級研究員
- 加茂順成 (かも じゅんじょう)
浄土真宗本願寺派総合研究所 研究員
-

浄土真宗総合研究 第 13 号

令和 2（2020）年 3 月 23 日 印刷

令和 2（2020）年 3 月 29 日 発行

編集・発行 浄土真宗本願寺派総合研究所

〒 600-8349 京都市下京区堺町 92

TEL 075-371-9244

FAX 075-371-5761

印 刷

〈落丁・乱丁本はお取かえいたします〉